

734 判検事弁護士試験問題

〔法学新報〕第32卷12(372)号 大正11年12月8日

○判検事弁護士試験問題 本年度第二次判検事弁護士試験問題
左の如し

○判検事の部

民法

- 一 無権代理人の責任を論ずべし
- 二 代物弁済の性質を説明すべし

民事訴訟法

- 一 裁判の種類及び其の特質を説明すべし
- 二 控訴取下の条件及其の効力を説明すべし

刑法

- 一 法律を知らざるを以て罪を犯すの意なしとなすことも得ずとの意義如何

- 二 文書の偽造変造及び毀棄の区別を論ずべし

刑事訴訟法

- 一 予審の性質を論ずべし

- 二 一事不再理の原則を説明すべし

商法

- 一 会社の種類及び其の性質を説明すべし

- 二 生命保険と傷害保険との性質上の差異を説明すべし

国際私法

- 一 婚姻の方式に関する準拠法を説明すべし

- 二 反致法とは何ぞや

国際公法

- 一 国家承認と交戦団体の承認との差異を説明すべし

- 二 領土占領の意義及効力を説明すべし

憲法

- 一 司法権の独立を論ずべし

- 二 国務大臣副署の性質及効力を説明すべし

行政法

- 一 官吏関係の発生消滅を論ずべし

- 二 公用徴収を論ずべし

○弁護士の一部

民法

- 一 果実の意義及其取得の法則を説明すべし
- 二 連帯保証の性質及効力を説明すべし

民事訴訟法

- 一 共同訴訟を説明すべし
- 二 中間判決と終局判決との差異を説明すべし

刑法

- 一 過失犯を論ず
- 二 脅迫罪を説明すべし

刑事訴訟法

- 一 公訴権を論ず
- 二 犯罪の捜査を論ずべし

商法

- 一 貨物引換証の性質及其効力を説明すべし
- 二 手形の裏書の種類及其効力を説明すべし

国際私法

- 一 国籍牴蝕の場合に於て当事者の本国法を定むる原則を説明すべし

- 二 禁治産に関する準拠法を説明すべし

国際公法

- 一 治外法権と領事裁判権との差異を説明すべし
- 二 戦争終了の場合を説明すべし

憲法

- 一 条約の効力を説明すべし
- 二 帝国議会の権限を説明すべし

行政法

- 一 営造物の概念を説明すべし
- 二 司法警察と行政警察との差異を説明すべし